

令和8年度伊那弥生ヶ丘高等学校 第1回学校評議員懇談会 記録

1 日 時 令和8年6月5日（金）

2 場 所 本校大会議室

3 参加者

(1)学校評議員：6名出席（1名欠席）

(2)職 員：校長、教頭、事務長、教務主任、進路指導主任、学習指導係主任、
生徒指導主事（代理）、保健主事、生徒会係、PTA 係主任（代理）、学校職員代表

4 内 容

(1)授業参観 15:15～15:55

(2)懇談会 16:00～16:40

①学校長挨拶

②自己紹介

③本校教育活動の概要説明…学校評価、進路指導係、学習指導係、生徒指導係、生徒会係

[質疑応答]

a. 学校評議員

学生数が減少していく中、クラブ活動をどのように維持・継続していくのか

→高体連は、統合の2年前（R10）から合同チームを作ることができる。したがって、弥生、伊那北、伊那新校の3つの出場もありうる。高文連も高体連と同様の考え。

現在片方の学校にしかない部活動について検討をしている。ソフトボール、器楽など。

教員数の関係もあり、顧問を付けられない部活もあるが、生徒の思いをくみ取り検討していく。

b. 学校評議員

新潟県のソフトテニス部の事故があったが、遠征などについて教えてほしい。

→長野県の学校の場合、移動手段に限界がある。本校は、マイクロバスをクラブや個人所有の形で所持している。そのマイクロバスの運転者は基本的に教員である。運転する場合は、事前に運行計画書の提出、保険内容の確認をしていく。

[感想や意見]

c. 学校評議員

授業を観たが、40～50年前に比べると内容の進歩を感じた。タブレットも上手に使っていた。写真部の作品も素晴らしい。

d. 学校評議員

同窓会総会では、生徒の皆さんや先生方の協力があり成功しました。来年もやりますので、是非お願いをしたい。

弥生祭について、最後まで盛り上げていきたいと思っている。煎茶の先生（唐沢様）が協力をしてくれる。

e. 学校評議員

一度きりの高校生活。遠慮せず 100%の力が出せる環境を作っていただきたい。統合は後ろ向きのイメージがある。在校生は、弥生で過ごせたことを「良かった」と思えるようになってほしい。そのために先生方からも地域にいろいろと言ってもらえればと思う。

f. 学校評議員

静かに授業を受けている姿が見られた。3年生は、2～3分前には席について、授業の準備をしているようだ。1, 2年生のときは移動していたり、話をしていたようだが、3年生では当たり前の行動のようで、成長していることを感じる。

g. 学校評議員

明るく挨拶をしてくれた。伸び伸び明るく生活をしていると感じる。医療を目指す人が少なくなっており、危機感を持っている。ぜひ高校と連携をさせていただき、医療系にも目を向けてほしい。保健師やその他でも協力していければと思う。地域一丸となって。

h. 学校評議員

閉じ行く学校の生徒や職員の気持ちはどのようなものか。中学校の立場から、弥生に生徒を送る魅力を中学校側にアピールしてほしい。次の入学生に対して、進学（大学）、就職、資格以外に伝えられるものはあるのか。魅力の一つは授業。授業の魅力が伝わるとよいと思う。

中学生は、平和で安心できる学校を目指す。弥生は平和な学校である。安心できる学校であるという評判。危険な場面がなく、保護者からも評価が高い。まじめで節度のある生徒が多い。

部活の引率について、運転している職員に責任があり、義務教育と違いがあり、驚く点である。

中学3年生の有終の美を送れるようにしてほしい。

i. 学校評議員

来年度の一年生は、どのような考えで、どのような思いで入学してくるのか。生徒が減っていくことにさみしさを覚えるが、少ないからこそできることを考えていただき、最後を素敵に終わらせられるようにしてほしい。

④諸連絡

⑤閉会